

# 自治会(区)は住みよい地域づくりを行っています

市には1001の自治会(区)(以下、自治会)があり、地域に住む皆さんが、住みよい地域を目指して自主的に運営しています。

市郷づくり支援課 ☎62・5017

## 自治会とは

自治会は、一定単位の地域に住む市民の皆さんが、自らの地域のことを考え、自らの手で住みよい地域づくりを行うために、自主的に運営する住民自治組織です。主に自治

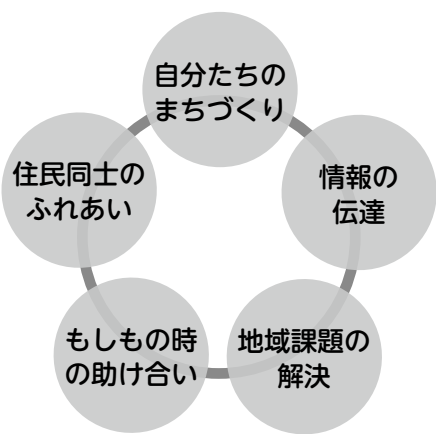
会加入者の会費で運営しています。地域の自治会が分らない場合は、市郷づくり支援課にお問い合わせください。

## 自治会の必要性

もし、熊本地震のような大

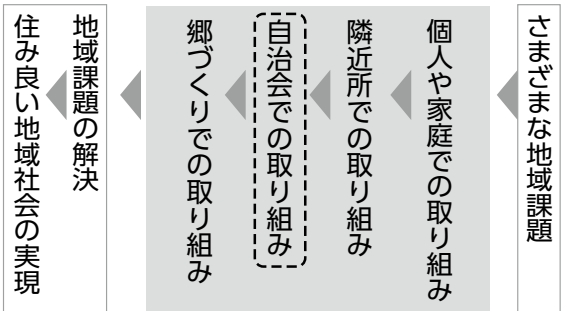
きな災害が起きたら、個人や家庭では対応できない課題が必ず発生します。そんなとき、頼りになる身近な存在が地域の自治会です。自治会では、いざというときに助け合えるよう、日頃から訓練や交流活動を行い、地域の人と人とのつながりを大切にしています。自治会活動はみんなの力を出し合い、助け合うことが不可欠です。自治会への加入は任意ですが、自治会の活動によって皆さんの生活環境が守られていることを考え、ぜひ自治会へ加入して、助け合いの輪を広げてください。

## 自治会員の輪



住民同士の顔が見える関係性が生まれ、情報の共有や共通する課題の解決、いざというときの助け合いなどを話し合う場となります。

## さまざまな地域課題の解決方法(イメージ図)



# ルールを守って分別収集

市では、ごみの再資源化や燃やすごみの減量化を目的に分別収集を行っています。きめ細かい分別収集を行うためには、市民の皆さんと自治会の協力が不可欠です。分別収集の必要性和現状を説明するとともに、自治会での工夫や取り組みを紹介します。

市つみがめ課 ☎62・5019

## なぜ分別収集が必要な

ごみの分別収集は、ごみの中から再資源化できるごみを選別し、再利用することを目的としています。生活する上で、多くのものを消費し、不要になったものはごみとして廃棄されます。一度燃やすご

みとして焼却されてしまうと、灰になり、元に戻すことはできません。しかし、ごみの中には材料として再生し、再利用できるものが多くあります。資源の少ない日本では、再資源化して「ごみ」を「もの」に生まれ変わらせることにより、資源を節約することは非

## 今問題になっていること

分別収集は自治会の協力により、月に1回、137カ所を実施されています。自治会が当番制で受け入れをすることにより、分別の知識や意識が高まり、地域住民の交流の場にもなることから、市としても自治会としても大きな意味を持っています。しかし中には、分別収集の時間以外にごみを捨てに来る人がいます。これは不法投棄となり、大変迷惑な行為ですので、絶対にしてはけません。地域の分別収集の時間に都合がつかないときは、公設分別ステーションを利用しましょう。また、パソコンやエアコン、テレビなどの家電は家電リサイクル法による回収になるため、分別収集に出すことはできません。

## 自転車を分別収集に出す前に

防犯登録をしている自転車は、分別収集に持って行く前に必ず防犯登録解除の手続きをしてください。最寄りの交番、駐在所、防犯協会で登録解除の手続きができます。手続きに必要なものなど、詳しくはお問い合わせいただくか、県防犯協会連合会のホームページをご覧ください。



宗像地区防犯協会 ☎0940-36-7511

## よくある疑問 自治会はどんな活動をしているの

- 自治会では主に次のような活動を行っています。
- ①自治会内の連絡、身近な暮らしの情報提供
  - ②広報などの配布・回覧
  - ③市への要望のとりまとめ、連絡・相談
  - ④分別ステーションの運営、環境美化活動
  - ⑤防犯灯の維持管理、防犯・防災活動など



▲夜道を照らす防犯灯

⑥親睦行事  
自治会の活動は、暮らしを支える欠かすことができないものです。活動を通して、お互いの顔が見える関係が地域の力になります。

## 助け合いの気持ちで

若木台3区では区の住民が利用できる「サポートの会」を2月に立ち上げました。地域の人のSOSを受けて、地域のサポーターが自治会と連携しながら支援する「助け合い」の活動を行っています。支援内容は主に外出の送迎や配食サポート、草取り、剪定作業などです。支援を受けた人



▲私たちがサポートします

からは「本当に助かった」「他の地域から羨ましいと言われた」との声が寄せられています。自治会の中で助け合いの輪が着実に広がっています。

## 原町2区の取り組み

### 軽トラックで高齢者宅へ

原町2区の分別収集は午前8時から受付です。分別の当番は午前7時頃に集合し、準備を始めます。受け入れ自体は他の自治会と変わりませんが、独自の取り組みとして、分別収集に来ることが難しい高齢者宅などを軽トラックで巡回し、ごみを回収しています。分別収集の世話人は「いろいろな悩みながらですが、地域



▲軽トラックは何度も出動

が協力し、高齢者も子どもも一体となって頑張っています」と語ってくれました。分別収集は、地域住民の協力なしでは成り立たないものです。

## 緑町区の取り組み

### リヤカーが大活躍

緑町では、高齢者やごみの量が多い人のために、分別収集の会場に自治会のリヤカーを準備しています。会員は時間中自由に利用することができます。また、分別収集に



▲重たいごみも楽に運搬

▲自治会所有のリヤカー  
来ることが難しい高齢者などは事前に自治会長や分別収集の世話人に連絡をしておくと、当日、家の前まで回収に来る取り組みを行っています。